

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和6年 会報
第5号

村政報告

村長 小高陽一



村長 小高 陽一

今年の夏も暑い日が続きましたが、このところようやく朝晩の風が涼しくなってきました。

後援会の皆様にはお元気に、そして楽しい日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、例年ですと十一月に村政報告会を開催し、私から一年間の村政の状況をお話ししてきましたが、今年六月三十日に村長選挙が行われ、詳しく情報発信がされました。

そこで今年の村政報告は、小高村政三期目を総括して文書にて報告いたします。

おだか陽一

三期目無投票当選

令和二年六月十六日告示の村長選挙は無投票となり、私の三回目の当選が決まり

ました。無投票当選はそれなりの価値があるでしょうが、何かモヤモヤ感があり、やはり今年のようにしっかりと選挙で選ばれたらいいと思います。

交流センター建設

オープン

令和三年六月十二日、選挙公約でもあり、かねてから計画していた中央公民館の建て替えとなる交流センターが完成、熊谷千葉県知事をお迎えして落成式が行われました。

生涯学習の拠点として、また乳幼児から中高生の学びと遊びの場として、年々利用者が増えており、本当に作って良かったと思っています。

三保育所を

認定こども園に

令和四年四月から村内三つの保育所が認定こども園となりました。保護者が働いている、いないにかかわらず、全ての子どもを受け入れ、幼児教育と保育を提供します。

また、それぞれの園が老朽化していることや一松こども園は津波浸水想定区域にあることから、統合し新しい一つの園を建設する公約は忘れていません。

ふるさと納税

千葉県一位

三期目の最初の年、令和二年度のふるさと納税額が十億七九八四万七千円で千葉県一位になりました。前年度は三位ながら全国に百八十三ある村の中で一位でしたので、一冠達成の快挙となりました。

ふるさと納税は国や県に気兼ねなく使える収入であり、大事に使っていきなりたいと思っておりますが、残念ながらここ数年寄附が減っており対策を考えています。

三期目の四年間は、新型コロナウイルス感染症対応に追われたものの、前年（令和元年）に起きた台風による被害も無く、比較的平穏な毎日でした。

年度別ふるさと納税額

| 年度 | 金額（円） |
|-------|---------------|
| 令和2年度 | 1,079,847,000 |
| 令和3年度 | 522,474,000 |
| 令和4年度 | 374,053,000 |
| 令和5年度 | 416,065,500 |

ただ、四期目の公約として給食センターの建設を議会にお話ししたところ、反対運動が始まり、議会のたびに決まった議員から質問を受けてきました。今回の村長選挙で多くの住民の方々からご理解をいただいたことで建設に着手したところですので、以上、報告いたします。

新副村長 就任

十二年間、大変お世話になった田中孝次前副村長の退任に伴い、村議会九月会議に新副村長の人事案を上げ、議員全員の同意をいただき田中喜宣さんが副村長に就任しました。

田中氏は、私が村長に就任以来、建設課長、企画財政課長、まちづくり課長そして総務課長を歴任、役職員はもとより住民の皆様からの人望も厚く、私も素晴らしいパートナーを得ました。



村長と副村長 田中喜宣さん